光る知性　豊かな心　強い意志

南中生

長井市立長井南中学校
令和　６年　５月２４日
校長　柿　崎　　円

文化部の活動を紹介します

　放課後、美術室をのぞいてみると…。
美術・手芸部が楽しそうに作品を制作していました。自分のイメージを絵にする人、タブレットを用いて好きなキャラクターの模写をする人、手芸の作品に取り組む人。黙々と自分の世界に没頭する人もいれば、仲間と相談したり談笑したりしながら作品づくりに励む様子がありました。





　水をたっぷり含んだ絵の具をポタっと画用紙にたらして、ティッシュでトントン。すると、絶妙なぼかしが浮かび上がり、キャラクターの髪に動きがでました。
　ダイナミックにキャラクターを描いている３年生のペンの動きからは、力強い自信が感じ取れました。たくさんの作品を描いてきた証ですね。
　「瞳」を描いている３年生の描写は、とても繊細でした。物事の深いところまで見通すような「瞳」に感じました。





　手芸に取り組んでいる２年生は、アイディアがどんどん溢れてきているようでした。リボンやワイヤーなどを使い、前回作成したものを超えようと意欲的に取り組んでいました。完成が楽しみです。
　完成した作品は西廊下に展示されます。全校生の皆さんもじっくり観てください。
　また、７月２～７日に小桜館で行われる地域の展示会に出展されます。ぜひ、多くの方に力作をご覧いただきたいと思います。
　昨年、美術・手芸部は中体連大会前に激励の横断幕を作って大会に出場する選手たちを支えてくれま

した。どうもありがとう。今年もよろしく頼みます！

音楽室に行ってみると…。

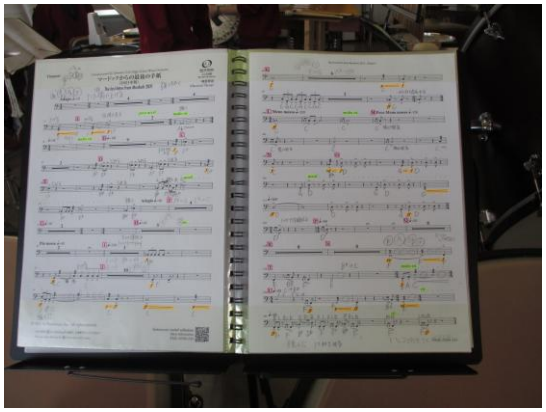
部活動指導員の先生のもと、リズム合わせの基礎練習を行っていました。



吹奏楽部員の表情は真剣そのもの。何度も何度も繰り返しの練習です。南中の吹奏楽部のレベルの高さは、この基礎練習にあると思いました。これでもか、これでもかと踏ん張って、これでもか、これでもかと努力して、最後の最後にものをいうのは、やはり「基礎」ですから…。基礎練習に真剣に取り組める南中吹奏楽部、さすがです！



リズムを追えなくなった時、「ここだよ」とアドバイスする仲間がいました。部員たちの楽譜にはたくさんの書き込みがありました。「表現の響きを自分でコントロール」「タンギング　雑にならないように」「調を合わせる」「強く!!」「はねさせる」「しっか5拍数える」などなど…。一人一人の努力と仲間の支えが響き合って素晴らしい演奏になるのだと、改めて感じました。



吹奏楽部は、６月２日（日）に長井市役所周辺で行われる「長井市消防演習」で分列行進時の演奏を行います。地域の方に喜んでもらおうと練習にも熱が入っています。お時間が許す方は、吹奏楽部の活躍をご覧ください。吹奏楽部の演奏は１０時からの予定です。



７月２０日（土）には地区吹奏楽コンクールが市民文化会館を会場に行われます。聴く人の心に響く演奏目指し、頑張れ！吹奏楽部。

